

平成 29 年 6 月 23 日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

第 4 回地方創生・交流自治体連携フォーラム 第 11 回自治体スクラム支援会議 を開催

「第 4 回地方創生・交流自治体連携フォーラム」及び「第 11 回自治体スクラム支援会議」を小千谷市で開催します。

小千谷市と災害時相互援助協定を締結している東京都杉並区と交流関係にある 9 自治体で開催するもので、第 4 回地方創生・交流自治体連携フォーラムは、国のまち・ひと・しごと創生総合戦略が掲げる「地方への新しいひとの流れをつくる」を踏まえた各自治体の総合戦略事業、特に交流、定住促進の目標達成への取組みを進めるものです。

■開催日時・会場

◆日時 7 月 14 日（金）

午後 2 時～4 時 第 4 回地方創生・交流自治体連携フォーラム

上記終了後 第 11 回自治体スクラム支援会議

◆会場 小千谷市総合産業会館サンプラザ 3 階ホール（小千谷市城内 1-8-25）

■連携フォーラム参加者

◆自治体

名寄市（加藤剛士市長）	南相馬市（桜井勝延市長）	北塩原村（小椋敏一村長）
東吾妻町（中澤恒喜町長）	青梅市（池田央副市長）	忍野村（天野寛副村長）
南伊豆町（岡部克仁町長）	杉並区（田中良区長）	小千谷市（大塚昇一市長）

◆国、大学ほか

東京大学 大森 彌名誉教授
内閣官房まち・ひと・しごと創生本部 末宗徹郎 地方創生総括官補
杉並区（まち・ひと・しごと創生総合戦略担当） 増田寛也 顧問
台北駐日経済文化代表処（未定）

■第 4 回地方創生・交流自治体連携フォーラム／概要

- ・ 広域連携による地方創生への期待（仮題）
- ・ 取組事例報告
- ・ 討議（テーマ） 2020 年を見据えて、地域の魅力を活かす（仮題）

■第 11 回自治体スクラム支援会議／概要

- ・ 当該会議への自治体参加について

お問い合わせ先

◎第 4 回地方創生・交流自治体連携フォーラム

小千谷市企画政策課企画経営係 担当／安達・岡元

TEL：0258-83-3507 FAX：0258-83-2789 E-mail：plan-kk@city.ojiya.niigata.jp

◎第 11 回自治体スクラム支援会議

小千谷市危機管理課危機管理・原子力安全対策係 担当／山谷・丸山

TEL：0258-83-3515 FAX：0258-83-2789 E-mail：bousai@city.ojiya.niigata.jp

平成 29 年 6 月 23 日

報道機関 各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

「おぢや錦鯉 PR ロゴマーク」を作成

Made in Japan 小千谷ブランドを国内外へ発信します

小千谷市の魚であり「県の鑑賞魚」にも指定された「錦鯉」は、近年では海外でもクールジャパンブランドとして脚光を浴びています。

「錦鯉発祥の地」である小千谷市が、世界で一番の「錦鯉のまち」として知られるように、地域全体で広く PR するアイテムとして、「おぢや錦鯉 PR ロゴマーク」を作成しました。様々な用途に活用できるようにタイプの異なる 8 種類のイラストデザインと 4 種類の文字デザインを作成しました。

ロゴマークは、使用主旨に沿ったものであれば、無料で使用できますので、いろんな用途に活用しながら、小千谷市一体となって「錦鯉のまち おぢや」の魅力在国内、海外に向けて積極的に発信していきます。

■作成コンセプト

- ①小千谷市を「錦鯉発祥の地（名産地）」として全国に PR する
- ②小千谷市ブランドの錦鯉として PR する
- ③錦鯉発祥の歴史や地域生産者の取組み、熱意を伝える
- ④海外に向けて小千谷市を PR する

■作成者

「タナカマサオ」さん

（小千谷イメージキャラクター「よし太くん」の生みの親である、市内在住のデザイナー）

■使用主旨

「錦鯉発祥の地（名産地）」である小千谷市を「錦鯉のまち」として広く発信して、誘客促進と交流人口の増加を図ることを目的に、国内・海外への積極的な PR につなげるものとします。

■使用方法

個人、団体、事業所等（市内に限る）で使用したい場合は、市役所観光交流課または小千谷観光協会に申請してください。目的が使用主旨に沿った内容と認められる場合には、無償で使用を許可します。（ロゴマークは電子データにてお渡しできます。）

なお、商品化等に使用する場合は、別途、観光交流課との事前協議が必要となります。

- ①原図複製：お祭りやイベントのポスター、各種パンフレット、展示物、商品包装やパッケージへの印刷やシール添付など
- ②商品開発：ステッカー、キーホルダー、衣類、食器のデザインなど

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市観光交流課 担当／平澤・堀澤

TEL：0258-83-3512 FAX:0258-83-0871 E-mail：kanko@city.ojiya.niigata.jp

平成 29 年 6 月 23 日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号**企業立地促進事業****「産業政策監」を委嘱**

小千谷市内の工業団地や工場用地に積極的に企業立地を促進するために、「産業政策監」を委嘱します。

企業立地や企業情報に精通する方を産業政策監として採用し、積極的な企業訪問による企業ニーズの把握や発掘、立地へのフォローアップをするものです。

■産業政策監委嘱

- ◆日時 7 月 3 日（月）午前 10 時から
- ◆場所 市役所 3 階 第 1 応接室
- ◆委嘱者 古川 隆文 さん
- ◆任期 7 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日まで

■産業政策監の職務等

- ・企業立地の促進
- ・企業の誘致活動全般
- ・企業へのアポイント取り、企業訪問
- ・企業情報の収集および当市への情報提供
- ・企業立地支援制度の相談及び支援
- ・当市新工業団地及び企業支援制度への助言

■産業政策監の紹介

- ◆古川 隆文（ふるかわ たかふみ）さん

新潟県庁に在職中、企業立地課や企業誘致推進課で企業誘致業務を歴任し、東京事務所での勤務経験もある。県営産業団地への上場企業の誘致に成功した他いくつかの誘致実績がある。

本件に関するお問合せ先／小千谷市商工振興課企業立地係 担当／大平・星野

TEL : 0258-83-3556 FAX:0258-83-2789 E-mail : syoko@city.ojiya.niigata.jp

平成 29 年 6 月 23 日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

平成 29 年度

「中越大震災ネットワークおぢや」総会及び研修会を開催

「中越大震災ネットワークおぢや」は、中越大震災の災害対応現場で得た知恵や教訓を収集・記録、共有して、災害発生時における被災自治体の災害対応業務支援のための情報の提供と経験職員等派遣の調整を行うことを目的として、平成 17 年に設立されたネットワーク組織です。

現在、新潟県内の 13 市町をはじめ、県外では杉並区や浦安市、東日本大震災で被災した南相馬市など 76 の行政組織が参加し、事務局を小千谷市危機管理課と静岡県常葉大学に置いています。

毎年、加入自治体職員を対象に災害対応能力を高めることを目的とした研修会を開催しており、今年度は新潟県中越沖地震から 10 年を迎えた柏崎市を会場として行います。

■中越大震災ネットワークおぢや総会及び研修会

- ◆日 時 7 月 18 日（火）午後 1 時 30 分～5 時 25 分
7 月 19 日（水）午前 10 時～正午
- ◆会 場 18 日：かしわざき市民活動センター まちから
(新潟県柏崎市西本町 3-2-8 電話：0257-22-2003)
19 日：柏崎市産業文化会館
(新潟県柏崎市駅前 2 丁目 2-45 電話：0257-24-7633)
- ◆対 象 会員自治体及びその他の自治体職員
- ◆研修内容 18 日は、自治体向けに熊本地震や東日本大震災の当時の状況や復興の様子を、実際に現地で活動してきた職員の方からそれぞれの立場でお話しいただき、その後ディスカッションを行います。
19 日は、「被災地からの発信－創造的復興に向けて－」をテーマにシンポジウムを一般公開で開催予定です。
- ◆参考（研修会開催地） 平成 23 年度 石川県輪島市 同 24 年度 群馬県太田市
同 25 年度 福島県只見町 同 26 年度 小千谷市
同 27 年度 兵庫県神戸市 同 28 年度 長野県飯田市

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市危機管理課 担当／武士俣・丸山

TEL：0258-83-3515 FAX:0258-83-2789 E-mail：bousai@city.ojiya.niigata.jp

平成 29 年 6 月 23 日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

「小千谷市土砂災害・洪水ハザードマップ」を配布

小千谷市では、土砂災害のおそれのある区域や信濃川の洪水で浸水のおそれのある区域を表示した「小千谷市土砂災害・洪水ハザードマップ」を全戸配布します。

ハザードマップは、大雨や台風、地震による災害に備えて、あらかじめ市民の皆さまに避難経路や指定避難所、指定緊急避難場所を確認してもらうために配布するものです。

■小千谷市土砂災害・洪水ハザードマップの配布

- ◆配布日 6 月 25 日号の市報おぢやに合わせて配布
- ◆配布対象 小千谷市内全世帯
- ◆大きさ 両面カラー A1 版（八ツ折 A4 サイズ）
- ◆記載内容

土砂災害ハザードマップ（表面）

- ・小千谷市を 7 つの地区に分割し、お住まいの地区のものを配布します。
 - 東小千谷・横渡・浦柄地区
 - 西小千谷、城川地区
 - 山辺・吉谷地区
 - 千田・片貝地区
 - 東山地区
 - 川井・岩沢地区
 - 真人地区
- ・新潟県が指定した土砂災害が起きるおそれのある土砂災害警戒区域（イエローゾーン）と土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）を表示しています。

洪水ハザードマップ（裏面）

- ・1000 年に 1 度程度の確率による洪水を想定し、国土交通省が公表した信濃川の浸水想定区域を表示しています。
- ・今回配布のハザードマップは、平成 21 年 3 月作成の信濃川洪水ハザードマップ（150 年に 1 回程度起こる洪水を想定）や、浸水の影響のある地域に配布した茶郷川、表沢川、須川、焼田川の洪水ハザードマップと一緒に保管してください。

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市危機管理課 担当／笹崎・山谷

TEL : 0258-83-3515 FAX:0258-83-2789 E-mail : bousai@city.ojiya.niigata.jp

平成 29 年 6 月 23 日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所

小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

**おぢやを支える次世代人材育成事業
高校生対象「おぢや未来座2017」開催**

小千谷市は、将来地域の担い手となる市内在住・在学の高校生を対象にワークショップ「おぢや未来座 2017」を開催します。

この「おぢや未来座 2017」は、大学生や社会人の先輩と高校生が「語り合う」場として、勉強、部活、進路、家族、地元のことなど、対話を通じて高校生自身の気づきや多様な生き方・働き方を学び、将来の可能性や選択肢の幅を広げるきっかけを作ります。

また、高校生の視点に立った課題を発見し、地域のことを考える機会とします。

■おぢや未来座 2017

◆日時

7 月 30 日（日）午前 10 時～午後 4 時

◆会場

サンラックおぢや（小千谷市桜町 5140）

◆対象

市内在住または在学の高校生

◆内容

高校生に、大学生と社会人を交えたワークショップ

- ・地域課題発見ワークショップ

小千谷市の現状や将来の展望の紹介。

観光・公共施設・中心市街地活性化をテーマに高校生の視点で地域のことを考える。

- ・未来創造ワークショップ

多様な人生モデルに触れ進路選択の先を想像する。

対話の中で、自分の興味・関心・大切にしたいもの、あるいは将来実現したいものに出会う。

◆参加無料

◆定員

25 人程度

◆申込締切

7 月 14 日（金）

◆申込・問い合わせ

小千谷市教育委員会 生涯学習課 社会教育係 電話：0258-82-9111

小千谷高校、小千谷西高校の生徒は申込書を学校に提出することもできます。

本件に関するお問合せ先／小千谷市教育委員会生涯学習課社会教育係 担当／林・吉越

TEL：0258-82-9111 FAX：0258-82-9112 E-mail：syougai@city.ojiya.niigata.jp

平成 29 年 6 月 23 日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

戊辰 150 年記念

プレ・セミナー「幕末・戊辰・維新をゆく～時代を切り拓く力」(全 3 回)

第 1 回 特別講演「子孫が語る 土方歳三と戊辰戦争」開催

平成 30 年に戊辰戦争から 150 年を迎えます。戊辰戦争や小千谷についての歴史を、気軽に楽しく勉強しませんか。全 3 回の講座では、幕末・戊辰・明治という大きな時代の流れを学ぶとともに、いつもとは違った切り口や視点で戊辰を考えます。

講師の土方さんによる講演会は、新潟県では初開催となります。

- ◆日時 8 月 5 日 (土) 午後 2 時～3 時 30 分ころ (開場：午後 1 時 30 分)
- ◆会場 サンプラザ大ホール
- ◆講師 ^{ひじかた めぐみ} 土方 愛さん (土方歳三資料館 館長)
- ◆演題 「子孫が語る 土方歳三と戊辰戦争」

^{ひじかた めぐみ}
◎土方 愛さんプロフィール

土方歳三の兄・隼人喜六から数えて六代目の子孫。
土方歳三の生家に生まれ育ち、現在は生家跡に設けられた
「土方歳三資料館」館長。明星大学客員教授。上智大学卒業。



- ◆募集定員 200 人
- ◆参加料 無料。ただし、聴講券が必要です。
- ◆聴講券の配布開始日時 6 月 29 日 (木) 午前 9 時から
- ◆聴講券の配布場所 総合体育館でお受け取りください。市外の方は、お電話でお申込みください。
- ◆その他
 - ・手話通訳、要約筆記が必要な方は 7 月 14 日 (金) までにお申込みください。
 - ・保育ルームの使用を希望する方は、7 月 18 日 (火) までにお申込みください。
- ◆申込・問い合わせ/小千谷市教育委員会 生涯学習課(総合体育館内) 電話:0258-83-0077

【今後の講座のご紹介】

第 2 回:9 月 2 日(土)市内視察研修。観光ボランティアガイドによる戊辰ゆかりの地のまちあるき。

第 3 回:9 月 23 日(土)市外視察研修。見附市民ガイドグループ「なびらーず」による見附市今町
戊辰戦跡まちあるき。

本件に関するお問合せ先/小千谷市教育委員会生涯学習課社会教育係 担当/長谷川・林
TEL:0258-83-0077 FAX:0258-83-0078 E-mail:syougai@city.ojiya.niigata.jp

平成 29 年 6 月 23 日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号**非核平和推進事業****被爆体験伝承講話会・非核平和ポスター展を開催**

小千谷市は、平成 4 年に非核平和都市宣言を行い、核兵器の廃絶と、平和の確立に市民一人ひとりが努力することを誓いました。

戦争の悲惨さ、平和の大切さを次世代に伝えるため、被爆体験伝承講話会及び非核平和ポスター展を開催します。また、小千谷市民の平和の願いを被爆地に届けるため、折り鶴を募集します。

■被爆体験伝承講話会

- ◆日程・会場 7 月 11 日（火） 午前 9 時 40 分～10 時 40 分 小千谷中学校
午後 1 時 20 分～2 時 20 分 千田中学校
- 7 月 12 日（水） 午前 8 時 50 分～9 時 50 分 南中学校
- ◆概要 被爆者の高齢化が進み、被爆体験をお話しされる方が少なくなっている中、被爆者からその体験や平和への思いを受け継ぎ、伝承活動を行う「被爆体験伝承者」を広島市からお招きし、講話会を開催します。
一般の方も聴講できますのでぜひご来場ください。

■非核平和ポスター展

- ◆日程 8 月 1 日（火）～8 月 15 日（火）
- ◆会場 小千谷市総合産業会館サンプラザ 2 階ロビー
- ◆概要 非核平和の大切さをより多くの方から理解していただくため、広島市及び海外の小・中学生が平和をテーマに描いたポスターや原爆被害などの写真を展示します。

■平和を願う折り鶴募集

- ◆受付期限 7 月 31 日（月）
- ◆受付窓口 企画政策課企画経営係（市役所 3 階）
- ◆概要 広島平和記念公園に捧げる平和を願う折り鶴を募集します。

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市企画政策課企画経営係 担当／福島・込田

TEL : 0258-83-3507 FAX:0258-83-2789 E-mail : plan@city.ojiya.niigata.jp

平成 29 年 6 月 23 日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所

小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

中国駐新潟総領事館 孫総領事 表敬訪問&養鯉場視察

中華人民共和国駐新潟総領事の孫大剛総領事が市長のもとを訪問されます。

孫総領事は本年 2 月に新潟総領事館に着任され、小千谷市を訪問されるのは今回が初めてとなります。当日は市長・議長との意見交換をされた後、“泳ぐ宝石”錦鯉を御覧いただきます。

■表敬訪問

- ◆日 時 7 月 6 日（木）午後 1 時 30 分～
- ◆会 場 市役所 3 階 第 2 応接室
- ◆訪問者 孫大剛総領事ほか 2 名

■視 察

- ◆日 時 7 月 6 日（木）午後 2 時 30 分～
- ◆場 所 大日養鯉場株式会社（小千谷市三仏生 4144-10）

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市企画政策課 担当／矢久保・石上

TEL : 0258-82-3101 FAX:0258-83-4638 E-mail : plan@city.ojiya.niigata.jp

平成 29 年 6 月 23 日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

旧小千谷総合病院跡地の整備計画を定めました

旧小千谷総合病院跡地（本町 1 丁目）の整備方針をまとめた「跡地整備計画」を定めました。今後、この計画をもとに事業手法などの検討を進めます。

■基本方針

平成 28 年 3 月に策定した「西小千谷地区市街地まちづくり基本計画」に基づき、『賑わい・交流・憩いの創出』を基本方針とします。

■敷地面積（合計 8,615.37 m²）

- ◆建物所在地 5,698.10 m²（うち借地 2,566.42 m²）
- ◆駐車場 2 か所 2,917.27 m²（本町 1,347.22 m²、坂下 1,570.05 m²）

■既存施設の取扱い

既存施設は、すべて撤去することを基本とします。ただし、井戸、塀その他の構築物などは、継続使用について検討します。

■事業手法など

平成 29 年度に民間活力導入可能性調査を実施し、事業手法や導入機能（下記）の施設概要などを検討します。また、導入機能と民間事業者による自主採算事業との複合についても検討します。

■導入機能

- ◆図書館
蔵書数の目安などについては、別途、基本計画を作成します。
- ◆郷土資料館（図書館の建物内に併設）
図書館とともに、別途、基本計画を作成します。郷土資料館内に西脇順三郎記念室を設置する方針で検討します。
- ◆大型コンビネーション遊具付き屋内広場及び屋外広場
屋内広場には小学生以下の子どもの利用を想定した大型遊具を設置し、屋外広場は無料で利用できる空間とする方針で検討します。
- ◆ダンススタジオ
音響設備、壁面鏡などを備えた防音室とする方針で検討します。
- ◆音楽スタジオ
音響設備と楽器を備えた防音室とする方針で検討します。
- ◆カフェ
民間事業者による営業とします。
- ◆全天候型スペース（屋根付き屋外広場）
耐雪構造の屋根で国道の歩道と施設の出入口の間をつなぎ、バス待合所を兼ねた開放空間とする方針で検討します。

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市建設課都市整備室 担当／真島・田中

TEL : 0258-83-3514 FAX:0258-83-2789 E-mail : kensetu@city.ojiya.niigata.jp